



(撮影：赤間茂幸委員)

▶ ヤッタ刈ったぞ! 未来の農業後継者 ◀
(長崎地区の子供会と仲間たち)

みんなの

議

会

おおと

NO. 184

2016 平成28年11月1日

特集／平成27年度決算

- 4 各種会計を「徹底検証」
- 8 町当局に意見提言
- 12 臨時会（第2回～第4回）
- 15 議案採決結果一覧表
- 17 町政を問う「一般質問に9名が登壇」
- 27 委員会活動レポート
- 31 その後どうなった…

9月 定例議会

平成28年第3回定例議会は、9月5日から21日までの会期日程で開催されました。平成27年度の一般会計・7特別会計・水道事業会計の各会計決算を、決算審査特別委員会において慎重審議を経て、全会計を認定しました。

また条例の制定1件、条例の一部改正等12件、平成28年度各種会計の補正予算9件、町道認定1件を原案どおり可決しました。

さらに人権擁護委員の人事案件に同意しました。

来年4月開館、児童館設置条例を制定

放課後児童クラブを併設し、健康増進とゆたかな情操を

【一般議案】

大郷町児童館設置

条例の制定

問 図書室には、本をどれくらい置くのか。

答 保健福祉課長 図鑑、

幼児書、児童書、子育て支援に関する参考書全部で1400冊程度を予定している。

問 学校、公民館にあるものもまとめられないか。

答 保健福祉課長 面積的

に不可能である。学校、公民館と重複しないよう照会しながら取りそろえたい。

問 運動させる場所が見えないが、隣にある学校の校庭を利用出来ないか。

答 保健福祉課長 現在も利用させていただいており、今後学校との連携を図っていく。

問 世代間交流をどのように考えているのか。

答 保健福祉課長 民生委員・社会福祉協議会等の方

を含めた中で運営委員会を設置する予定であり、その中で各種団体・ボランティア団体・子供会等の支援と併せて子供達との交流を図っていく。

問 国の法改正により、指導員が支援員となり、支援員に研修等が義務づけられているようだが対応は。

答 保健福祉課長 年数回行われる県の研修に全て出席していただいている。現在の支援員は、全て資格は

確保している。

【審議結果】

議案第44、45号 賛成多数で原案可決
議案第46、47号 全会一致で原案可決
議案第48、55号 富谷町が富谷市に移行するための文言の修正
全会一致で原案可決
議案第64号 全会一致で原案可決

※(詳細は15ページに掲載)



▲お金の使い方を検証しました（決算審査特別委員会）

歳出決算の前年度対比

※1万円未満は四捨五入

会計別		平成27年度決算	平成26年度決算	比較増減	増減率
一	般 会 計	49億4,486万円	43億7,161万円	5億7,325万円	13.11%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	10億4,259万円	9億5,263万円	8,996万円	9.44%
	介 護 保 険	9億4,815万円	9億8,515万円	△ 3,600万円	△ 3.75%
	後 期 高 齢 者 医 療	6,913万円	7,158万円	△ 245万円	△ 3.43%
	下 水 道 事 業	2億2,249万円	2億1,433万円	816万円	3.81%
	農 業 集 落 排 水 事 業	4,579万円	4,755万円	△ 176万円	△ 3.71%
	戸 別 合 併 処 理 浄 化 槽	5,165万円	5,428万円	△ 263万円	△ 4.85%
	宅 地 分 譲 事 業	0万円	0万円	0万円	0.00%
水 道	収 益 的 収 支	2億0,982万円	2億2,197万円	△ 1,215万円	△ 5.48%
	資 本 的 収 支	9,183万円	7,860万円	1,322万円	16.83%
合 計		76億2,631万円	69億9,713万円	6億2,861万円	8.98%



大黒 秀一氏
(川内)

9月定例議会において、本町の人権擁護委員として、大黒秀一氏を推薦することに全会一致で同意しました。
任期は平成29年1月1日～平成31年12月31日までとなっています。

人権擁護委員に
大黒 秀一氏

人事
案件

検証

決算審査特別委員会



石川委員長



赤間副委員長



▲決まりを守って正しく搬出

主なつかいみち

- 住民バス管理費 4,469万円
- ごみ焼却処理（黒川行政） 1億7,825万円
- 環境衛生組合家庭清掃事業補助 249万円
- ごみ収集業務 1,773万円
- 狂犬病予防注射業務 102万円

生活・環境

犬の登録の推進を！

問 家庭衛生の薬剤散布の効果

答 環境衛生係長 人に影響が低い薬剤に変えている。

問 ごみ袋を黒川広域で統一し、安くできないか。

答 環境衛生係長 将来的には統一していきたいと考えている。

問 未登録の犬の把握はどうしているのか。衛生組合に声かけをお願いしては。

答 環境衛生係長 狂犬病

予防注射の時期に登録をお願いを全戸配布している。

また衛生組合の声かけも来年度より依頼する。

問 住民バス管理費における修繕料の内容は。

答 企画財政課補佐 事務所の修繕改修43万円、ほかバスの修理などである。

主なつかいみち

- 議会活動費 1億1,333万円
- 黒川地域行政事務組合（消防） 1億5,197万円
- 消防用機械器具購入費 720万円
- 地域消防団活動費 2,629万円
- 住民情報システム賃借料 2,655万円

総務・財政

弁護士の無料相談を

問 住民向けに弁護士の無料相談を大郷町でも取り入れていくのか。

答 総務係長 平成28年度から試行的に年3回の利用をおこなう。

問 町民税、固定資産税等の収入未済額の対策は。滞納の理由は。

答 特別徴収対策係長 期限内に納めない方には、催促・催告を出している。催告に反応し相談に来庁さ

れる方に納税相談を実施。滞納の主な理由は低収入の方もいるが、納税意識が希薄な方もいる。



▲弁護士が問題解決、無料相談を実施

徹底

平成27年度の決算を詳細に審査するため、特別委員会を設置（委員長：石川壽和委員）し、延べ5日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では、委員会審査報告の後、採決を行い、一般会計及び各種会計を認定しました。



▲一日でも早い不安解消へ

主なつかいみち

- 縁の郷施設管理費 1,117万円
- 農業振興・畜産費 7,429万円
- 開発センター管理費 413万円
- 多面的機能支払交付金 3,580万円
- 農地中間管理機構集積協力金 3,356万円

問 面積拡大、複合化、雇用の理由は。

答 農政商工課長補佐 経営体育成支援事業で、経営

問 トラクター購入で補助金を交付しているが、その理由は。

答 農政商工課長 汚染稲わらは、梱包したものが430個あり、平均で3000ベクレルである。

問 汚染稲わらの放射能濃度は5年半も経っているが、どういふ状況なのか。

答 農政商工課長 汚染稲わらは、梱包したものが430個あり、平均で3000ベクレルである。

汚染稲わらの放射能濃度は

答 農政商工課長 状況を

問 物産館進路は、車両の出入りがしにくい状況だ。信号機の配置など改良が必要ではないか。

答 農政商工課長 状況を

関係で基準に達した法人、農業者に補助金を交付する事業。

主なつかいみち

- 県後期高齢者医療広域連合療養給付費等負担金 8,723万円
- 黒川病院費 6,199万円
- 障害者自立支援給付費 1億4,403万円
- 保育所費 1億 927万円
- 各種検診委託料(胃がん検診等) 4,220万円

保健・福祉

楽しい敬老会の開催を

問 敬老会の参加率が低い、参加者からも意見を聞き、楽しい会になるよう検討が必要だ。

答 副町長 敬老会の開催については、検討を重ねてきたが、今後は参加者のご意見もいただき、良い方向性を模索していく。

問 受診率向上への努力対策は。

答 保健指導係長 乳がん・子宮がん検診日を土曜に

受診とした。自己負担金の見直しも考えている。

答 保健福祉課長 受診率は町村独自で算出している。次年度に分析の方法を検討し、他町村と比較できるようにする。



▲心に残る敬老会を

検証



▲より一層の有効活用を

主なつかいみち

○小中学校パソコン賃借料	433万円
○幼小中学校スクールバス運行業務	4,885万円
○奨学金貸付金	1,728万円
○幼稚園管理費	800万円
○秋まつり事業費	253万円
○社会教育施設管理費	1億4,505万円

問 大山志保プロゴルフツアーからの寄附金で健康器具を購入し、設置したが利用状況は。

答 社会体育係長 社会福祉協議会の事業に参加した婦人の方々が利用している。多くの方が利用できるようPRしていく。

問 インストラクターは常駐しているのか。

答 社会体育係長 設置業者から、職員が指導を受け

指導できる状態である。

問 大郷小学校の学力が向上している。教職員の秋田での研修成果が活かされたと判断しているか。

答 教育長 視察先の真似をするのではなく、大郷小学校の実態に合ったものを活かすことを基本に考えた。日々の授業の中で活かせるものがたくさんあり、全校の職員の成果と考える。

教育・文化

健康器具の利用状況は

主なつかいみち

○町道補修工事費	4,300万円
○町道除融雪業務	2,650万円
○町道新設改良費	1億9,772万円
○橋梁新設改良費	1億6,714万円
○町営住宅建設費	4,764万円

問 大雨の時、土砂採取場から土砂流出し復旧させたケースはあるか。

答 建設係長 原因が断定できた場所については業者で撤去をお願いしている。

問 災害未然防止のために土砂採取地周辺のパトロール回数を増やすべきでは。

答 地域整備課長 予想される場所についてパトロール等を実施している。また、災害防止協議会の協力をい

ただき防止に努めていく。

問 町営住宅使用料の収入未済額の対応は。

答 管理係長 誓約書を取り交わし、月々の返済額を決めて返済していただき、滞納額が減っている状況にある。

問 町道の舗装の実績は。

答 建設係長 町道丸山線について実施している。今後も優先順位を考慮し整備していく。

建設・土木

災害未然防止のため



▲舗装された丸山線

徹底

特別会計・水道

介護予防事業の充実を

主なつかいみち

○包括的支援事業費	1,169万円
○石綿セメント管更新事業	1,179万円
○下水道管理費	6,020万円
○農集排事業管理費	1,828万円
○合併処理浄化槽設置工事	943万円

問 介護予防事業は社協とより一体となって取り組んでほしい。

答 保健福祉課長 社協、包括支援センター、永楽会と足並みをそろえて推進する。

問 心郷送迎のバス停、コースを見直し、利用者の利便性向上を図るべきだ。

答 保健福祉課長 良い方向に検討する。

問 加入促進（水洗化）を

進めるための方策は。

答 地域整備課長 P R や啓もう活動の強化と制度の再構築等、他の自治体の事例を取り入れ着手していく。

問 有収率アップに向け、漏水調査の実施を。

答 地域整備課長 配水池の系統毎に検査を実施するなど効果的に行いたい。



▲いつまでも健康に（心郷）

平成27年度一般会計の認定について

討 論

反対 大友三男議員

バス全般費用における公平性や妥当性に疑問がある。2回も処分を受けている民間会社に対し、住民バス管理運行費3800万円など、合計5954万円もの貴重な税金を支払ったことは到底納得できるものではなく、反対討論とする。

賛成 石川壽和議員

決算審査特別委員会の委員長として、各課ごとに審査を尽くし、意見を取りまとめ、意見を付して認定すべきものと報告しました。委員長報告を承認し、支持するとお伝えし賛成討論とする。

賛成 佐藤千加雄議員

平成27年度は厳しい財政状況のなか、限られた予算を効率的、効果的に執行されてきたと評価する。今後は町の中長期的ビジョンを明確に示し、庁内の総力をもってさらなる樹立をすることを切望しながら賛成討論とする。

町当局に18項目の意見を提言

決算審査特別委員会は、5日間にわたる委員会審査の結果、18項目に及ぶ意見を町当局に提言しました。

一般会計

乱 開発防止のためにも、開発業者への指導強化に努められたい。

未 登記土地の早期解決に努力されたい。

空 き家バンク等を活用し、定住促進に努められたい。

住 民バス事業の指定管理者として指定している業者への指導強化を図られたい。

縁 の郷の施設管理を徹底されたい。

各 種検診のさらなる受診率向上に努められたい。

水 質検査の項目・場所等を再検討し、水質保全に努められたい。

国 ・県の補助等を活用し、本町基幹産業農業の振興を図られたい。

全 庁的な取り組みで、税・使用料等の滞納整理に努められたい。

(株) おおさと地域振興公社へ経営改善のための指導を、一層強化すべきである。

災 害未然防止のために、土砂採取地周辺の定期的なパトロールに努められたい。

消 防団・水防団の充実に努め、町民の安全安心な生活に努力されたい。

大 郷中学校の快適な教育環境づくりに努力されたい。

国民健康保険特別会計

若 世代健康診断の受診率向上に努められたい。

介護保険特別会計

介 護予防事業の推進を図られたい。

戸別合併処理浄化槽特別会計

水 質保全と快適な生活環境の向上を図られたい。

加 入促進に努められたい。

水道事業会計

有 収率向上のため、漏水調査を引き続き実施されたい。

監査委員の意見（要約）

自主財源の確保！

決算総体では、国・県支出金が前年より1億7107万円増加し、基本繰入金も2億5320万円増加した。また、地方消費税交付金、地方交付税の増により、

実質収支額を2億868万円計上した。しかし28年度は基金繰入金による財政運営となることから、新たな補助金の確保や、自主財源の確保に努力されたい。

主要財政指標では、財政の弾力性を見る経常収支比率は93・0%、実質公債費比率は9・7%、財政力指数は0・42%で総体的にはほぼ例年どおりの数値となったが、今後、扶助費等の増加にともない財政力が懸念される。

地域支援事業等のさらなる充実を

介護保険・後期高齢者医療特別会計では、高齢化に伴う給付の増加は必至であり、地域支援事業等のさらなる充実を図り、健康寿命の伸長増進で給付費の抑制に努力されたい。

国民健康保険特別会計の不納欠損処理額が245万で前年より81万円増加した。滞納整理対策に努力されたい。

水洗化加入の促進を

下水道事業・農業集落排水事業。戸別合併処理浄化槽特別会計においては、一般会計からの繰入金が前年度とほぼ同額計上されている。収入未済額の解消と、水洗化加入促進に取り組んでいただきたい。

石綿セメント管更新事業の早期完了を

水道事業は、黒字計上となったが石綿セメント管更新事業の未施工部分が14840メートル残っている。早期完了に努力されたい。

財政健全化指標

町財政を健康診断

報告

自治体の財政危機を未然に防ぐために、「健全化指標」の公表が義務付けられています。財政状況は4つの指標を使って判断しますが、1つでも基準値を超えると財政悪化を示します。

区分	黄色信号（注意）		赤色信号（財政破綻）		大郷町 （平成27年度）	判断
	基準値	早期健全化団体	基準値	財政再生団体		
1. 実質赤字比率 （一般会計に占める赤字の割合）	15.0%	4指標のうち1つでも基準値を超えれば、「早期健全化団体」となり、自治体は自主的に財政を改善しなければなりません。	20%	3指標のうち1つでも基準値を超えれば、国の管理下で財政再建を進める「財政再生団体」となります。	赤字なし	正常
2. 連結実質赤字比率 （公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合）	20.0%		30%		赤字なし	正常
3. 実質公債費比率 （自治体の収入に対する借金返済額の割合）	25.0%		35%		9.70% （前年度比0.2%減）	正常
4. 将来負担比率 （将来にわたる実質的負債「借金」の割合）	350%				9.10% （前年度比1.6%減）	正常

児童館の建設に伴う費用計上

児童福祉費3717万の増額

第3回定例議会において、一般会計、6つの特別会計及び水道会計の平成28年度補正予算が提案され、可決しました。

一般会計補正予算の 主な内容

役場庁舎改修工事、旧大松沢中バックネット解体撤去等工事、真観寺ため池進入路復旧工事	1,454万円
児童館外構工事、看板設置工事、遊具設置工事	3,717万円
縁の郷レストラン改修工事	481万円
除融雪業務	3,805万円
生活道路改良舗装工事	7,560万円

一般会計は、2億7829万円を追加し、歳入歳出それぞれ52億3691万円となりました。主なものは、児童館整備費、縁の郷レストランの改修費、除融雪業務、生活道路改良舗装工事費などです。

主な質疑

問 縁の郷レストラン窓の改修工事の内容は。
答 農政商工課長 現在の構造の中で最大限、外観、景観が見えるような開口部を検討した内容。
問 レストラン改修に至った経過を。
答 農政商工課長 誘客を

に基づき、県と公社と協議し、窓の拡張により景観を増す工事を計上した。

問 工事請負費の側溝工事は林地開発に伴う土砂の流出等による被害が原因では。
答 地域整備課長 原因者が特定できないために土砂撤去を行うもの。原因者が特定できるものは、原因者に撤去を要請している。

問 スクールバス停の除雪業務の内容は。
答 教育課長 パトロールで必要箇所を選定48箇所中30箇所程度。おおむね10センチメートル降雪が予想されるときに判断する。
問 児童厚生施設費、外構工事など一般会計当初予算で提示できなかったのか。

答 保健福祉課長 本体の実施設設計が固まったのが3月末、施設の位置、内部構造がまだ確定しなかった。

問 チャイルドシートの貸付数、購入数は。
答 総務課長 24台保有、22台貸し付け。少子化対策の一環として、希望者に応じられるように6台購入する。

下水道事業特別会計 主な質疑

問 長寿命化計画の策定業務に至った経過と状況について。
答 地域整備課長 国並びに県の指導のもと行っている。

問 全体計画の変更で受益者の負担が増してくるので。
答 地域整備課長 今のところは、かからない方向で考えている。

問 下水道事業全体計画変更業務の内容は。
答 地域整備課長 農集排事業と下水道事業を一つに繋ぐ計画でいる。

農業集落排水事業特別会計 主な質疑

問 修繕費の内容は、将来の見通しは。
答 地域整備課長 処理場の除じん機の制御盤の基盤交換費用。定期的な維持管理した中でしっかり管理運営したい。

請願

赤道を町道にする認定と赤道の拡幅並びに 大栄団地の生活道路新設についての請願

請願者 地先道路を考える会 代表 佐藤 和彦
中村区長 笠森 敏男
この請願を総務産業常任委員会に審査を付託。継続審議としました。

陳情

意見書



宮城県の子どもの医療費助成について 県に対する意見書採択を求める陳情

この陳情を教育民生常任委員会に審査を付託した結果、採択としました。

陳情のとおり意見書を提出

【審議結果】
全会一致で採択としました。

陳情者 乳幼児医療ネットワークみやぎ 代表 刈田啓史郎
提出先 宮城県知事
陳情及び意見書の趣旨

宮城県の子どもの医療費助成の通院助成対象年齢を中学3年生まで拡充すること、所得制限を緩和または撤廃することを求める。

大郷町議会の主な動き (7/1~9/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
7/1	平成28年建町記念式典	8/22	宮城県町村議会議長会議員研修会 (大和町)
7/3	平成28年度大郷町消防団消防演習	8/29	議会運営委員会
7/12	広報編集常任委員会	8/29	広報編集常任委員会
7/13~15	総務産業常任委員会所管事務調査 (島根県邑南町・鳥取県日南町)	9/3	平成28年度大郷中学校運動会
7/19	大郷町産「モロヘイヤ餃子」「キクイモ餃子」お披露目会	9/5	議会運営委員会
7/20~22	教育民生常任委員会所管事務調査 (鳥取県南部町・湯梨浜町)	9/5~21	第3回(9月)定例会
7/24	第49回宮城県消防操法大会	9/7	議会改革調査特別委員会
7/25	議員全員協議会	9/10	第36回ふながた若鮎まつり
7/27~28	宮城県町村議会議長会議員講座 (仙台市)	9/13	総務産業常任委員会
7/29	第4回臨時議会	9/13	教育民生常任委員会
7/30	郷和荘夏まつり	9/14	平成28年秋の交通安全県民総ぐるみ運動大郷町拡大会議
8/1~2	議会運営委員会所管事務調査 (福島県会津坂下町・山形県白鷹町)	9/15	議会運営委員会
8/6	おおさと夏まつり	9/16	議会改革調査特別委員会
8/12	議会運営委員会	9/19	平成28年度大郷町敬老会
8/12	おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会	9/21	秋の交通安全運動大郷町開始式
8/20	第4回羽生の丘夏祭り	9/24	町道上戸線上戸橋開通式
8/22	議員全員協議会	9/29	広報編集常任委員会

上戸線工事契約可決

平成28年第2回臨時議会が6月16日に開催され、工事請負契約の締結について審議し、原案どおり可決しました。



▲開通がまたれる上戸線（大松沢地区）

（議案第39号）

工事請負契約の締結について

平成28年度町道上戸線県道取付工事（主）石巻鹿島台大衡線）
 契約金額 5937万8400円
 契約相手方 世紀東急工業株式会社
 黒川営業所

主な質疑

問 低入札の基準価格を見直しの考えはあるのか。

答 副町長 国の改正等に準じたなかで調査基準価格の掛率を今後考えていく。

問 最近の入札において、大きな金額になる程低価格入札ということで、何回か

調査委員会を開いているが、これをどう分析されて今後の工事設計にどう活かされるのか。

答 地域整備課長 県下統一の設計を行っているのが現状であり、積算をする側としては特に高いという認識は持っていない。

議案採決結果

（全会一致で原案可決）

議案名 (略称)	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生 寛	赤間 滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
工事請負契約の締結について	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席

※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

児童館建設費2億2356万円

平成28年第3回臨時議会が6月24日に開催され、工事請負契約の締結について審議し、原案どおり可決しました。



▲4月の開館が待ち遠しい。

(議案第40号)

工事請負契約の締結について

大郷町児童館建設工事
契約金額
2億2356万円

契約相手方
株式会社 橋本店

主な質疑

問 町内に入札条件を満たす業者はあるのか。

答 企画財政課長 今回の条件に適合する町内の業者はない。

問 今回の契約で一括というものを除けば下請負いのできるのか。

答 企画財政課長 監理技術者の配置を条件としており、下請けは可能である。
問 下請けが可能なら町内業者に配慮する考えはある

のか。

答 副町長 受注された業者が下請け業者を選定する。町内業者の現状、育成の観点から、協力の要請という形で進めていく。

問 一括で発注した理由はなぜか。

答 地域整備課長 完成が29年の2月28日であり、さらには施工性や工事の進捗状況等を加味し、電気設備機械設備とまとめて一括発注とした。

問 2月28日以降の開館までどのような仕事が残っているのか。

答 保健福祉課長 27年度用地確保した部分の工事と外構工事などを行い、4月1日の開館に向かいたいと考える。

議案採決結果

(賛成多数で原案可決)

議案名 (略称)	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生 寛	赤間 滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
工事請負契約の締結について	可	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席

※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

議案採決結果

議案名 (略称)	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
和解及び損害賠償の額の決定について	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度大郷町一般会計補正予算(第2号)	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席

※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

住民バス事故和解

平成28年第4回臨時議会が7月29日に開催され、大郷町住民バス事故に関する損害賠償の額の決定、それに伴う一般会計補正予算等を審議し、原案どおり可決しました。

(議案第41号)

特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について

職員の業務委託料支払事務の公金処理不適正に係る職員分限懲戒審査会の結果を受け、職員の分限及び懲戒処分を行ったことに関して、一定の責任を負うという判断をし、町長、副町長、教育長の月額給料の減額を行うための条例改正。
内容としては、8月分の給料に限り月額給料を町長100分の10、副町長、教育長の給料を100分の5を減額し支給するもの。

主な質疑

問 今回の条例改正はこの問題の責任を取るといふ形であるが、この問題を受け、再発防止策をどう考えているのか。

答 町長 職員の指導、綱紀粛正に努め、今後こういうことのないように努める。なお、当事者については、この4月から別の部署に異動させ管理職から指導、監視をし職員の姿勢を正すよう指導している。

【審議結果】
全会一致で原案可決

(議案第42号)

和解及び損害賠償の額の決定について

平成28年3月10日、大郷町住民バスが大和町鶴巣大平地区を大和町方面へ走行中に対向車がセンターラインをはみ出したことにより衝突、双方の車輛が破損したもので、相手方の過失割合を10割とし町に賠償する。

主な質疑

問 運転手への補償はどうなっているのか。

答 企画財政課長 休業補償等を含めてドライバーさん本人と相手方間で示談が成立をしたと伺っている。

【審議結果】
全会一致で原案可決

(議案第43号)

一般会計補正予算(第2号)

住民バスの事故に関する和解協議が整ったことによるリース料の精算金、及び代替車輛の購入費等が計上されたもの。

主な質疑

問 公用車購入費の考え方について伺う。

答 企画財政課長 バスの購入については現在同型の車輛を中古で購入し、運行できるまでの仮装備等々を含めた予算計上である。

【審議結果】
全会一致で原案可決

平成28年第3回定例議会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名 (略称)	議決月日	採決結果	賛成	反 対	赤 間 茂 幸	大 友 三 男	佐 藤 千 加 雄	石 川 壽 和	若 生 寛	赤 間 滋	和 賀 直 義	高 橋 重 信	石 垣 正 博	高 橋 壽 一	石 川 秀 雄	千 葉 勇 治	吉 田 茂 美	石 川 良 彦	
																				議決月日
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	6日	認定	13	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	大郷町児童館設置条例の制定について	8日	可	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
45	大郷町放課後児童クラブ条例の一部改正について	8日	可	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
46	大郷町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
47	暴力団の利益となる公共施設の使用の制限に関する条例の一部改正について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
48	黒川地域行政事務組合規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
49	吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
50	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
51	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
52	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
53	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会合同設置規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
54	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
55	仙台都市圏広域行政推進協議会規約の変更について	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
56	一般会計補正予算(第3号)	8日	可	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
57	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
58	介護保険特別会計補正予算(第1号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
59	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
60	下水道事業特別会計補正予算(第1号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
61	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
62	戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算(第1号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
63	水道事業会計補正予算(第2号)	8日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
64	大郷町道路線の認定について	21日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
65	平成28年度大郷町一般会計補正予算(第4号)	21日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告 第4号	健全化判断比率について	8日	報告のみ																	
報告 第5号	資金不足率比率について	8日																		
認定 第1号	一般会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第2号	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第3号	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第4号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第5号	下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第6号	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第7号	戸別合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第8号	宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定について	21日	認定	12	1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定 第9号	水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	21日	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情 第4号	宮城県の子どもの医療費助成について県に対する意見書採択を求める陳情書	21日	採択	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発 第4号	宮城県の子どもの医療費助成について県に対する意見書採択を求める意見書(案)	21日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席

※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

議会の活性化を図るためには、その審議能力を強化していくことが必要不可欠です。

政務活動費は、町政に関する必要な調査研究のために、議員1人当たり月額5000円が町から交付されている。

どんなことに使えるか

具体的な内容は、次のような経費に使えます。

- 調査や視察の交通費など
- 研修・会議の開催や参加するための経費
- 広報誌や報告書の作成費
- 要請や住民相談の活動費
- 書籍や資料の購入費

平成27年度に交付された政務活動費収支報告書の概要を報告します。

平成27年4月～9月分

No.	会派・議員名	議所 議員 数属	所属議員				交付決定額	支出金額				合計	残額 ▲自己負担額
								調査 研究費	研修費	資料 購入費	事務費		
1	清友会	4	代表	赤間 滋	石川 壽和	120,000	○				120,443	▲ 443	
			若生 寛	熱海 文義									
2	町民クラブ	3	代表	高橋 壽一	高橋 重信	90,000					0	90,000	
			高橋 睦義										
3	創政クラブ	2	代表	石川 良彦	吉田 茂美	60,000	○				60,221	▲ 221	
4	日本共産党	1	代表	千葉 勇治		30,000		○			38,124	▲ 8,124	
5	公明党	1	代表	和賀 直義		30,000			○		14,124	15,852	
6	改進黨	1	代表	石垣 正博		30,000					0	30,000	
7	石川秀雄	1	代表	石川 秀雄		30,000	○				30,000	▲ 111	
8	郷右近憲一郎	1	代表	郷右近憲一郎		30,000					0	30,000	
総 合 計						420,000					263,047	156,953	

平成27年10月～平成28年3月分

No.	会派・議員名	議所 議員 数属	所属議員				交付決定額	支出金額				合計	残額 ▲自己負担額
								調査 研究費	研修費	資料 購入費	事務費		
1	清友会	4	代表	若生 寛	石川 壽和	120,000	○				135,385	▲ 15,385	
			赤間 滋	赤間 茂幸									
2	町民クラブ	4	代表	高橋 壽一	高橋 重信	120,000	○				10,000	110,000	
			石垣 正博	大友 三男									
3	創政クラブ	4	代表	吉田 茂美	石川 秀雄	120,000	○				135,385	▲ 15,385	
			石川 良彦	佐藤千加雄									
4	日本共産党	1	代表	千葉 勇治		30,000	○		○		43,410	▲ 13,410	
5	公明党	1	代表	和賀 直義		30,000		○	○	○	13,948	16,052	
総 合 計						420,000					338,128	81,872	

(平成27年 任期満了に伴う議員改選がありました。)

次回定例議会

みなさんの傍聴を
お待ちしております

12月7日(水)から
午前10時～
12月9日(金)まで

議会の
生の
声を

町政を問う!!



質問者(登壇順)	質問事項(通告順)	ページ
1. 千葉 勇 治	1. 町道山中希望の丘線の今後の町の取り組み方針について 2. 地区懇談会で出された意見と今後の町当局の取り組みについて 3. 株式会社おおさと地域振興公社の経営改善について	18
2. 石 垣 正 博	1. 森林等開発の規制強化を早急に 2. 住民バス指定管理者の行政処分について	19
3. 高 橋 重 信	1. 目安箱を設置して山中希望の丘線建設に対する町民の声を聞くべきである 2. 他の市町村に先駆けて「給付型奨学金制度」の創設を	20
4. 赤 間 滋	1. 高齢者対策について 2. 定住対策について 3. ふるさと納税について	21
5. 大 友 三 男	1. 町道及び生活道路の整備状況について 2. 東北放射光施設について 3. 住民バス、小中スクールバス委託業者について	22
6. 若 生 寛	1. 萩野公介選手応援団の設立を 2. 土砂採取業者への指導について	23
7. 和 賀 直 義	1. ドクターヘリのランデブーポイントについて 2. 教育環境の整備等について	24
8. 石 川 壽 和	1. 避難所について 3. ふるさと納税について	25
9. 佐 藤 千加雄	1. 産業振興について 2. 生活環境基盤整備について 3. 大松沢社会教育センターの活用と周辺整備について	26

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報編集常任委員会で要約したものを掲載しています。



千葉 勇治議員



▲町民の声を町政に

新道整備目的は地域活性化か

児童生徒の安全確保である(町長)

町道山中希望の丘線の整備は地域活性化が目的か

問 「社会資本整備総合交付金事業計画」で進めている新町道は、利用者が少数でも、企業誘致や地域活性化につながるの理解してほしいと説明しているが、そのことも目的の一つとして国に申請しているのか。

答 町長 道路ができることによってこのような町づくりもできますよと話しているだけで、申請目的はあくまで「児童生徒の安全確保」である。

問 安全な通学路対策だけでなく、その道路がなくても十二分に対応できると考えるが見解を求める。

答 町長 「仮称希望の郷」団地以外に、長崎地区内にも民間の不動産業者による分譲地等の計画もあり、将来はかなりの児童生徒が通

学すると認識している。
問 町内全域の歩道のない通学児童等の安全対策は進んでいるのか。

答 地域整備課長 状況を確認し対策できるものは、早急に、また町だけでなく公安委員会や学校と協議し連携を密にして対応を検討したい。

問 宮城県が冠水対策の一環として丸山信号機周辺のかさ上げを進めており、新町道を整備しなくても緊急時に川北方面に通行できるようにするのはないか。

答 町長 県のかさ上げ計画は丸山の信号機付近だけで、中村線と長崎線が交差する要害地区周辺は今後も冠水が予測されるので、新町道整備で救急車両が早急に川北方面に到着することができる。

町主催の地区懇談会で出された声をもっと町政に

問 地区懇談会で出された町民の声を広報に掲載し、その対策に万全を尽くす姿勢が求められている。町長の考えを伺う。

答 町長 今後しっかり集約し広報等でお知らせしながら町民に理解を得ていきたい。

町が主体性を持ち地域振興公社の経営改善を

問 町が大株主である「おおさと地域振興公社」の経営改善策について、もっと具体的提案を示し進めよ。

答 町長 議会から大胆な改革の要望をいただき、テナント募集や新商品の開発など様々な手法で改革に取り組んでいる。



石垣 正博議員

森林等開発の規制強化を

森林法に基づいて指導を行う(町長)

森林等開発の 規制強化を早急に

問 現在森林は多くの砂採取や、太陽光施設の設置により開発が進み、里山としての機能が十分果たせない状況になりつつある。

このままの状態が続けば、自然環境はもちろん、我々居住地にも相当の悪影響が懸念される。

答 町は、林地開発に対しどのような考えを持っているのか。

問 町長 無秩序な開発行為が行われないためのルールが林地開発許可制度で、許可権限者は県知事。知事は町長の意見を聴く事になっている。

町は、開発指導部会で開発にあたっての同意・条件

の協議を行い、回答を県知事に出している。

問 町では、森林法に基づいて適切な指導を行う。

答 町開発指導要綱を改定し乱開発を防ぐとあるが、要綱はあくまで行政内部の内規であり法的性質を持っていない。

条例を作り法的強制力を持たせるべきと考えるが。

問 企画財政課長 開発には、森林法なり都市計画法なりで規制を受けている。

地方自治法の規制により、法律の規定を上回る条例を制定出来ない。実質上の強制力を持った制限を、行政指導等の中で行っていく。

問 林地開発後、無秩序な開発行為を防ぐため、自然管理の保全、残地森林を残す、森林緑地の造成をするという事が、適切に守られているのか。またその面積や位置等についても、町で確かめているのか。

答 企画財政課長 昨年頃から、県の立ち入り調査の際、町が帯同を許された。現地を見ながら必要な指導なりを行っている。

問 各自自治体では、ドローンを使っていろいろの事をやっている。

本町もドローンを使って、開発や抑制のために開発状況を空から監視してはどうか。

答 町長 県・町の職員が現場に入り、しっかりと監視をしながら指導出来るので、あえてドローンまで購入して監視する必要はない。

住民バス指定管理者の 行政処分について

問 平成28年6月に住民バス

指定管理者が行政処分を受けた。平成26年8月にも受けている。

処分は貸し切りバスに対してだけと言う事だが、本町は業者にどのような対応策を考えているか。

答 町長 法令違反があった事実は、町としても重く受け止めている。

安全な運転に努めるよう強く要請した。

今後は、現場における指導を増やすなど、実効性のある対応を実施していく。



▲豊かな里山、田園を守りたい



高橋 重信議員



▲未来ある子ども達の夢実現のために

目安箱を設置して町民の声を聴くべきである

地区懇談会で広く町民の声を聴けた(町長)

より多くの町民の声を

「給付型奨学金制度」の創設を

問 目安箱を設置して山中希望の丘線建設に対する多くの町民の声を聞くべきである。地区懇談会は、9カ所169名の参加者で区役員さんが多数である。新道は幅員9・5メートル長さ240メートル、旧道は側溝に蓋をして幅員6メートル長さ260メートルで歩行者の安全に対してグリーン帯の設置と車両のスपीドは30キロ以内走行させるとしている、危険地帯と考えるが大丈夫なのか。

答 町長 平成27年に地元地権者等に説明しており、また6月13日より地区懇談会において広く町民の声を聞いたものと判断している。既設側溝に蓋架けて小学校前のカーブ舗装にしてゾーン30(30キロ速度規制)にすることで十分な安全確保が出来るかと判断している。

問 本町では、経済的な理由で就学することが困難な学生に対し、奨学金を無利子で貸与しており、毎年多くの学生がこの制度を利用しているが、その後多額に及ぶ返済金の支払いが待っており、大きな負担になっている。そこで他の市町村に先駆けて、「給付型奨学金制度」をいち早く創設をし、子育て支援の町、定住化促進対策の町として、最も重要な施策になると確信する。①奨学金貸し付けの過去5力年の状況はどうなのか。②奨学金一人当たりの総貸付は。③ひとり親世帯等、より支援が必要な学生のために給付型奨学金制度創設を。④大郷町に居住する卒業生に対しては貸与額の50%等を給付型奨学金にすべきと考える。

答 町長 ①5年間の貸付者数は、新規及び継続貸付を含めて23年度48名、24年度34名、25年度30名、26年度36名、27年度38名。②一人当たりの貸付金額は高校生3万円、3年間で108万円、大学生、専門学生4万円、大学生は4年間192万円。③④に対しては、一億総活躍プランの中で国が現在、検討しているのが動向を見ながら勧めたいと考えている。

問 能力と意欲のある生徒は進学すべきである。優秀な人材は町の財産であり、そのための人材育成が重要である。定住促進の起爆剤となりうる給付型奨学金制度の創設を早急にすべきと考えるが所見を伺う。

答 町長 行政として、しっかりと考慮してまいりたい。



赤間 滋議員

住みよい町づくりの推進は

まち・ひと・しごと創生総合戦略の実現を図っていく(町長)

高齢者対策について

問 本町の高齢者のみの世帯数と一人暮らし老人世帯の現状を伺う。

答 保健福祉課長 65歳以上の高齢者のみの世帯は合計で583世帯で、そのうち一人暮らし世帯は309世帯です。

問 特別養護老人ホームの町内入居者数と待機者数を伺う。

答 保健福祉課長 町内入居者数は72名、待機者数は重複もあるが78名です。

問 現在、待機者が78名いる中で、いわゆる団塊の世代が、あと10年後には、75歳以上になりますます深刻な状況が予想される。どのように対処していくのか。

答 町長 一自治体での取

り組みは難しい。社会福祉協議会、地域の方々と連携をとりながら在宅介護重視で対応していきたい。

定住対策について

問 若者の減少は総人口の減少に拍車をかける。造成中の高崎団地を「若者が住みたくなる魅力ある団地」とすべく、スモリ工業の住宅技術職人訓練センターを開校しているが、スモリ工業の協力をいただくことはできないか。

答 町長 相手のあることであり慎重に進めていきたい。

問 若者定住対策につながる、子育て支援策として本町で(※)ブックスタート事業を推進しては如何か。

答 保健福祉課長 児童館事業内容として検討していきたい。

ふるさと納税について

問 本町の住民が、他の自治体に対して行った寄附行為による住民税の控除額の総計はいくらか。

答 税務課長 28年度は5名であり、住民税の控除額



▲定住促進が期待される高崎団地…

増額に努めていきたい。

(※)0歳児健診などの機会に、「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする事業。

問 は29万7787円です。本町への寄附の金額は462万であり、収支から判断すれば、大きな税収アップ効果である。舟形町(山形県)等を参考に本町のふるさと納税が県内1位となるよう取り組んではどうか。

答 町長 先進事例などを検討しながら創意工夫をし、



大友 三男議員



▲安全安心な歩行帯を

町道及び生活道路の整備状況と歩行者の安全対策は 道路整備は整備要綱で対応、各区長と協議をし安全対策に努める(町長)

- 問** 歩道の無い町道や生活道路を利用する、高齢者や子供、乳母車を使うお母さんの安全や、朝夕、交通量の多い各スクールバス停までの道など、各地区の幅の狭い道の両側に二重の白いラインをひき歩行帯を作り歩行者の安全を確保しては。
- 答** 町長 幅員が確保できない場合は側溝にふたをかきたい。カラー舗装を行いゾーン30の指定を行う。生活道路は区長と協議し安全対策に努めていく。
- 問** 地区懇談会で要望された道路整備の見解は。
- 答** 町長 道路の整備に関する要綱に基づき整備を行う。
- 問** 6月13日からの地区懇談会で赤道の簡易舗装要請が2件あり、町民が困っている中、どのような対策を考えているのか。
- 答** 地域整備課長 費用対効果を考え簡易舗装は行っていない。
- 問** 地区懇談会のなかで新道山中希望の丘線に対し賛成意見が何件あったのか。
- 答** 副町長 懇談会の趣旨として町道整備の説明をし、賛否をとったわけではない。
- エックス線の安全性について**
- 問** 放射光施設でのエックス線の安全性についての見解は。
- 答** 町長 放射線障害防止に関する法律等の規定で建設される施設で、安全な施設と認識している。
- 問** 低レベルの放射性廃棄物が出ると言われている。一般的な医療用レントゲン撮影エックス線の一万倍もある、加速電子エネルギーを使う放射光施設のエックス線が安全といえるのか。
- 答** まちづくり推進課長 研究者や医療機関職員を防御するため鉛入りのエプロンやゴーグル等使用し法令に基づいた安全基準を人為的に管理されているので問題ない。
- 住民バス、スクールバス委託業者について**
- 問** 苦情が多いという事で公社に対し一年契約期間を残し契約解除をしているのに、平成26年8月20日、今年6月20日と2回も法律違反を繰り返して行政処分された。民間会社を、来年3月のスクールバス指名入札から外すべきでは。
- 答** 町長 罰を受けたからすべてダメだと、そうなる人間社会全般の中でも更正も出来ない、再生も出来ないというような、決めつけてはまずいのかと思う。



若生 寛議員

萩野公介選手の応援団を

設立に向け各団体に働きかけをする(教育長)

問 リオ・オリンピック水泳での萩野公介選手の活躍は周知の通りである。お母さんが本町出身であることから東京オリンピックに向け応援団の設立をしては。

答 教育長 萩野公介選手は金銀銅メダルを獲得し素晴らしい活躍だった。横断幕を作成し大きく掲げた。設立に向け各団体に働きかける。

問 帰郷の際は子供たちとの交流の実現を。

答 町長 金メダル第1号であり、お母さんの実家を訪れ祖母にお祝いを伝えた。来町の際は小・中学生と対面し夢と希望をあたえてほしいとお願いをした。

土砂採取業者への指導は

県の立ち入り調査に帯同し合同で確認指導(町長)

問 本町の土砂が東日本大震災復興の手助けとなっていて事は嬉しいものだ。そこで土砂採取場の現状について伺う。

①採取計画(採取中も含め)のある件数は。

②採取に手付かずの業者への指導は。

③全体的な業者への指導内容は。

答 町長

①件数は21件で239haで相談中は3件7ha。ほとんどが川内、東成田地区である。

②事業進捗状況に応じ変更計画等の手続きの提出を求め、今後規定を定め指導する。

③道路・巡回パトロールにより危険箇所などの発見・指導、台風など降雨が予想される時には事前指導の実施。県の立ち入り調査に帯同し確認指導の実施。

問 公害防止に関する協定書を交わしているが履行の



▲災害が懸念される手付かずの土取り場(川内地区)

確認は。

答 企画財政課長 県の担当課と合同で巡視し調整池等の確認をしている。

問 道路がだいぶ傷んでいるが復旧の考え方は。

答 町長 県道もとても傷んでいる。県と協力し復興省、国交省に今後とも要望活動を続ける。



和賀 直義議員



▲一刻も早い救急措置を

ドクターヘリの活用を急げ

県・消防と連携し有効活用(町長)

問 着陸する際、砂ぼこりが舞い上がるため、着陸の前に消防ポンプ車による散水が必要、一分一秒を争う救急医療では、散水による時間ロスが命取りになる、候補地は。

答 町長 総合運動場、大郷牧場跡地、大松沢社会教育センター、スモリの学校が候補地だ。
問 住民に場所の周知と共にドクターヘリの活動を理解してもらうためにも看板を設置すべきと考えるが。
答 町長 補正予算にて対応する。

問 総合運動場以外は砂ぼこり対策が必要だ。またどの地域からも救急車で7分以内で到着できる場を設定する必要がある。
答 総務課長 毎年、見直しを考える。

問 救急医療を行う3次医療機関が遠い大郷には、医療の地域格差が無くなる大

きなメリットがある。スムーズな運行ができるよう取り組むべきだ。

答 町長 救命率向上等の効果が大きい。県、消防と連携し有効に活用していく。

教育環境の整備について

問 通学路の安全確保、町道愛宕下鍋釣線(中村地内)がゾーン30指定でカラー舗装が計画されている。住民より側溝蓋の凸凹、カーブミラーの死角の改善等の要望がある。
答 町長 区長を通じて把握、現場を確認し舗装工事と合わせて対応する。

問 学校のトイレの洋式化の計画は。
答 町長 小学校は全て洋式である。中学校も順次洋式に取り換えていく。

3歳児幼稚園教育の実現は

問 平成30年を目標に3歳

児よりの幼稚園教育を検討とのことだが、課題と実現の決意を伺う。

答 町長 検討会議を重ねており、実現に向け、鋭意努力をする。

答 教育長 時代の流れもあり、愛着形成も満足させながら3歳児教育をやらざるを得ないと考える。

問 奨学資金の貸与の資格に①保護者の属する世帯に町税等の滞納が無いこと。②他から奨学金の貸し付けを受けてないことがうたわれており、貧困の連鎖をどう解消するかが社会問題になっている。この2項目は外すべきと考えるが。
答 町長 ①は原資は善良な納税者の税金であり、外せない。②は多重債務に苦しむことを防ぐためだ。



石川 壽和議員

ふるさと納税で町のPRを

町の産業振興にも結び付けたい(町長)

問 学校・文化会館・B&G等と共に各地区の分館も指定避難所になっているが、以前、分館も指定避難所としてみていただけなのかとの質問に対し、そこまで手を広げられない旨の答弁であったが、所見を伺う。

答 町長 一時的に収容する施設としての位置付けであり災害の状況などにより町災害対策本部が判断してそれぞれの指定避難所への誘導を行っている。

問 大きな公共施設がない地域、並びに高齢者の移動等の問題で、地域から分館を指定避難所への指定の要請があった場合の判断は。

答 総務課長 区長・自主防災組織から、強い要望があれば、対策本部として検討・判断を早急に承認した

場合は指定避難所として職員が張り付いて対応したい。

問 プライバシー確保・子供・ペット等の問題での車中泊避難、どのような対策を考えているのか伺う。

答 町長 指定避難所の収容可能人員から、想定はしていないが、万が一の場合、健康面を考慮しながら町の保健師の巡回等で対応していきたい。

問 ふるさと納税、本年4月からふるさとチョイスにアップしたが、現在の状況を伺う。

答 町長 8月17日迄のアクセス数1675回、寄附の申し込み250件462万円、お礼品の申し込み状況は米が160件、地ビール58件と約87%を占めている。8月16日以降、仙台南がお礼品に加わり、1週間で18件の申し込みをいただいた。

問 アクセス数と申し込み件数との差をどのようにとらえているのか伺う。

答 企画財政課長 どの割合をもって、多い・少ないを判断するのは難しいと思うが、2000件足らずの

アクセスで約300件も寄附をいただいたのはありがたいと思う。

問 町の産物をPR出来る制度と思う、これを利用して大郷の名前もPR出来ればと思うが所見を伺う。

答 町長 町の産業振興に結び付けるようなお礼品をさらに開発などをしながら、納税額が増えるよう努めていく。

今イチパンのお得を女性目線でプロが厳選! 初めてのでも選べる!

ふるさと納税

★最旬ベスト!

九州を代表する魚

確定申告が不要に! さらにカンタン! ますますおトクに!

納税枠が倍にアップ!

おいしいものを食べ、税金免除 (マガジンハウスより掲載)



佐藤千加雄議員



▲さらなる交流の場として期待される（大松沢社会教育センター）

老朽化圃場の再整備は

地権者の同意のもと慎重に進めていく（町長）

農業振興の取り組みは

問 農地集積を推進するための、町の指導・助言の取り組みは。

答 農政商工課長 集積の受け皿となる母体、法人化の推進を図りながら、関係ハード事業等導入、雇用対策などに努める。

問 老朽化した圃場の再整備について。

答 町長 大区画整備について、県と調整しながら進めているが、地権者の100%に近い同意が不可欠であり今後慎重に進めていく。

問 農家のイメージアップのために「仙台牛の郷」「新鮮野菜・フルーツの郷」の看板設置を。

答 町長 和牛部会や産直の方々と話し合いをもち、検討して進めていきたい。

森林資源の活用を

問 町土の45%の森林の再

生可能な森林について、保護と整備の施策を。

答 農政商工課長 具体的に諸事業はある。里山は森林だけで無く畑地化で進める内容もある、農と林業で推進していく。

問 評価が高まっている、里地・里山の環境整備について、町と民間が連携して取り組むべきでは。

答 企画財政課長 マスタープランのなかでも、里山里地を守っていく方針である。行政と民間と連携した対応で、町の活性化が図られる。

大松沢社会教育センターの今後の活用は

問 センターの今後の活用方針と地域との連携は。

答 町長 地域との交流の場として、芸術文化の創造と健康やスポーツ振興の場としての利用を期待する。

問 旧校舎、グラウンド、体

育館の今後の活用について、また民間活用はあるのか。

答 教育長 旧校舎については資料準備室として利用していく、体育館、グラウンドについては、今後も地域行事やスポーツ少年団などに大いに利用して頂く。

大郷町の文化歴史の継承の場は

問 子供たちの副教材として、使用していくべきでは。

答 教育長 十分な整備はされていないが小学校の社会科学習で見せて欲しいという要望がすでにある、整備をして要望に応えたい。

問 詳しい活用について再度伺う。

答 町長 小学校、中学校の学習施設として、校庭は地区の運動公園、ドクターヘリの着場として利用していく。

総務 産業

日本一の子育て村 移住定住促進

島根県邑南町

(7月13日)

鳥取県日南町

(7月15日)



▲本町でも早急な定住促進策を

「邑南町」は人口1万1294人、面積419・2平方キロメートル、面積の86パーセントが山林で基幹産業は林業である。A級グルメの町を商標登録、優れた食材や生産者への誇りを込めたネーミングで町全体をブランド化し認知度やイメージの向上を図っている。

日本一の子育て村を 目指して

保育料、保育所給食の無料化、奨学金貸与者が町内の医療所、福祉施設、農林業に従事する人、また関連事業所への就職者には奨学金返還の免除など、思い切った取り組みをしている。

産婦人科、小児科、24時間緊急受付、ドクターヘリ緊急搬送。また新町民の誕生を防災行政無線でお知らせし、全町民でお祝いしている。

「日南町」は人口5284人で面積340・9平方キロメートル、基幹産業は林業で山林が89パーセント、農地は6パーセントで米、トマト、ブロッコリー等である。

空き家利用で人口増

全国の中でも過疎高齢化率が上位に位置しており、空き施設、空き家の活用と廃屋の対策にて人口増を図っている。

①中学校旧寄宿舎を改修工事し移住を検討されている方への生活体験、高齢者シヨートステイ住宅として、移住定住の促進と住宅需要の改善を図っている。

②老朽危険家屋等の解体撤去補助金交付要綱を制定し、要した経費総額の20パーセント(上限額30万円)を助成している。

③解体することで固定資産

税の負担増となるため解体されずに放置されている、対策として、老朽家屋等解体撤去に関わる固定資産税を10年間減免措置としての要綱が制定された。

【意見】

本町も定住促進策として、空き家施設、空き家情報の収集と提供による移住定住を図り、また小規模団地の取り組みを行っているが、ソフト面に関しては遅れている。

この団地で、この町で暮らしてみたいと決心したくなるように、県内外に広く情報を発信して人口増に向けた、精度の高い資料等の作成を早急に講じられたい。

教育 民生

特色ある学校づくり

健康づくり

鳥取県南部町（7月20日）

鳥取県湯梨浜町（7月21日）



▲会見小学校視察風景

学校を支える 祖父母の会

平成28年7月20日（水）、鳥取県南部町役場において、議会議長、教育長、会見小学校校長、総務・学校教育課長補佐より説明を受けた。南部町では、コミュニティースクール制度を導入し、保護者、地域の方々が委員となり、学校の運営などに係る意見を教育委員会と校長に直接意見が言える学校運営協議会を組織し、学校をより良いものにして、特色ある学校づくりを行っている。また、GTA（学校を支える祖父母の会）を組織し、忙しいPTAをカバーし、学校施設の管理（会見小学校校庭の全面芝生化）等にも寄与している。

ノルディックウォークで 健康づくり

21日（木）には、鳥取県湯梨浜町役場において、議会議長、副町長、教育民生常任委員長、企画課長、健康推進課長より説明を受けた。湯梨浜町では、健康づくりの一環としてノルディックウォークを取り入れているが、現在では、県と連携した「鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業」へと発展させ、地域の観光振興と県民の健康づくりにも繋げている。

【意見】

本町でも、協働教育プラットホーム事業や子ども会育成会等、地域の方々のボランティア活動が行われており、南部町との共通点多かったが、これらの事

業をより発展・充実させるために「コミュニティースクール」の導入と「GTA活動」を検討されたい。また、ウォーキングマップ等をつくり事業を行っているが、本町の自然を活かし、コースを整備して、ひざ等に負担の少ないノルディックウォークを取り入れるべきである。

議会運営

議会改革に向け先進地視察

福島県会津坂下町・山形県白鷹町

(8月1日～2日)

開かれた議会づくり

全国的に地方議会・議員の活動に対する関心度が高まっている中で、当委員会としてもより開かれた議会を推進するとともに、また町民の議会に対する理解と信頼を深めることを目的に、先進地である福島県会津坂下町

と山形県白鷹町の取り組みについて調査した。

2自治体とも、インターネットでのライブ、録画中継や議会報告会等を開催し町民に議会の活動状況を詳しく伝えており、町民が議会傍聴しなくても家庭

や公民館で議会の様子が分かり、さらに、議会にも緊張感が増し、より活発な議論が展開されているとのこと。本町議会でもこれらの研修に学び、「開かれた議会づくり」に邁進する方針を確認したところである。



▲インターネット中継を本町でも



▲議会活動を茶の間へ

議会改革調査特別委員会

全議員で議会報告会を

町民にもっと開かれた議会を目指し、議会改革調査特別委員会を議会発議で6月に設置。これまで「開かれた議会」のあるべき姿について「まずはやれるものから取り組もう」という考えで、協議・調査を行っています。

その一つとして、29年3月議会終了後の早い時期に旧小学校単位で仮称「議会報告・懇談会」を行い、議会に対するご意見をいただき、その声に議会を通じて応えていくという好循環型の議会運営に努めていく考えです。また、議会傍聴のできな

い多くの方には、インターネットによるライブ・録画中継で、議会活動が茶の間に届くような取り組みも検討中です。

こんな研修ありました



宮城県町村議会議長会 議員研修会

8月22日に開催された当研修会は、県内町村議会議員を対象とし、本町から議会議長（宮城黒川地方町村議会議長会会長）をはじめとする全議員が参加しました。

目的としては、県内町村議会議員が一堂に会し、震災復興への一助と町村議会議員活動の活性化に資することを目的に開催されました。

「今後の政治・経済と
地方自治のあり方」
政治ジャーナリスト 細川 珠生 氏

「七ヶ浜町の震災後の
復興状況と課題」
七ヶ浜町長 寺澤 薫 氏



宮城県町村議会議長会

議員講座

県内町村議会議員が対象で、本町からは総務産業・教育民生の両常任委員会ごとに全議員がテーマに分かれ受講しました。
「宮城県の行政評価について」
「協働教育について」

お詫びと訂正

「おおさとみんなの議会」183号（平成28年8月1日発行）の11ページの記事に誤りがありました。

誤 副町長 この施設は波長の長い軟X線で出力3と弱く、さらに専門家の意見でも放射性廃棄物が出ないとの見解があるので、それを踏まえて誘致推進をしていく。

正 副町長 この施設は波長の長い軟X線で、専門家の意見でも放射性廃棄物が出ないとの見解があるので、それを踏まえて誘致推進をしていく。

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

追跡レポート

納税・徴収体制強化を

納税意識の高揚を図り、さらなる徴収体制強化に努められたい。
(平成27年9月議会、決算審査における意見書より)

その後の対応と今後の計画

長期滞納を防止するため、徴収体制強化を目的として配置した専門の嘱託徴収員が早い段階で滞納者へ電話による催告を積極的に行い、納税に対する認識を深めてもらうよう努めています。

また、税負担の公平性を確保するため、悪質な滞納者に対しては給与・預金等の差押えを行い滞納処分の強化を図ったほか、平成22年度設置した大郷町町税等収入未済額縮減対策委員会による夜間の訪問徴収など、全庁的な組織として取り組みを行い、町税の他水道料や給食費等についても未納額の削減に向けた取り組みを進めています。

税務課長



▲悪質な滞納者へは強制執行も



▲より正確な工事積算を目指します

積算・設計の適正化

工事積算及び測量設計は、綿密調査を行い、事業実施に際して重要変更が生じないようにすべきである。

(平成27年3月議会、予算審査による意見書より)

その後の対応と今後の計画

測量設計にあたっては、担当職員が現場の状況を確認し、工事に際し予想されるあらゆる状況を勘案した中で、測量設計を実施しております。

また、測量設計の成果をもとに、説明会等での地域住民の声を反映させたり、事業実施に向けて工事の施工方法等を再考し、重要な変更が伴わない工事費の積算を行っております。

今後も、速やかな工事の実施に向け、綿密な調査を心掛け、測量設計や工事積算を行うものです。

地域整備課長

住民の 声



木村 健一さん
(石原)

この町の魅力
温かい心と、自然に囲まれて…

私たち家族は、今年の三月に大郷町に引っ越してきました。色々な土地を探し、辿り着いたのが大郷町石原でした。大自然と田園に囲まれたそんなのどかな場所で、化石燃料だけに頼らず、なるべく自然エネルギーを使った暮らしをスタートしました。ご近所の方々は心の温かい方ばかりです。それは、この素晴らしい環境が人々の心に表れているからだと感じています。

この場所は便利とは言えません。車がないと何処にも行けないし、駅も近くにありません。暮らしに何を求めるのか？便利さなのか安らぎなのか、ひとそれぞれだと思います。私たちのように田舎でのんびり暮らしたいと思う人は意外に多いと思います。何でも揃った町の便利さにはかありませんが、自然に囲まれて暮らすことの素晴らしさを、多くの人に知ってもらおう事が大切だと思います。

正確で解りやすくをモットーに より良い紙面づくりを目指します!

熊本県玉東町議会来庁

ぎよくとうまち

地域防災について視察

8月3日(水)、熊本県玉東町議会(議員10名、町長、職員1名)が、行政視察のため本町を訪れました。視察の目的は「地域防災対策(自主防災組織)の取り組み」、その他災害防止協定・給水車の活用等です。担当職員が資料より本町での取り組みの現状等を詳しく説明後、両議会による活発な意見交換を行いました。



▲玉東町より行政視察来庁

編集後記

リオ・オリンピックが開催され数多くのメダル獲得に日本全国が応援合戦。個人競技、団体競技に数多くの感動がありました。幼少期の練習映像に、悔しさ、うれしさの顔が放送されて身近に感じました。水泳の萩野公介選手のお母さんは大松沢生まれで、応援にもより一層、力が入りました。インタビューを受けている選手の幼少時期は、練習が好きで自ら進んで練習をしていたとの事。

子供には勉強、勉強と言ってきたことを反省してみても覆水盆に返らず、これからの子供達には、のびのびと逞しく成長することを願います。

高橋 重信

編集委員

委員長 和賀 直義
副委員長 佐藤千加雄
委員 赤間 茂幸
石川 壽和
高橋 重信
吉田 茂美

